

## 客観的な指標の算出方法

### 成績評価 / GPA 制度

本校では成績管理を厳格適正に実施するために、成績評価の方法を定め学生個人の GPA を算出し客観的な指標として活用しています。また、学科ごとの GPA に基づく成績の分布状況を年度末に作成し、教職員が把握することで学生に対する学修指導等に活用しています。

#### ■成績評価について

成績評価は6段階評価で行い評価基準は下記表のとおりとなります。

評価	合格				不合格	
	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)	E(履修放棄)
評点	90 点以上	80 点以上	70 点以上	60 点以上	60 点未満	-

- ・成績評価は前期末および後期末の年度内2回行われる試験結果により決定します。
- ・学則別表に定める「講義」「実習」「演習」の別により、それぞれ筆記試験、実技試験を行います。
- ・実技試験においては実習内容に応じた評価項目を作成し、その項目ごとに評点を定め合計点を評価とします。
- ・授業科目によっては授業内で行われた小試験、レポート提出、出席率等の平常点を評価項目の一つとします。

#### □不合格科目について

- ・不合格科目（不可、履修放棄を問わず）が一つでもあると進級判定、卒業判定を受けられません。
- ・不合格科目が一つでもあると成績証明書の発行ができません。
- ・不合格科目は前後期末に行われる補講期間内に、本校が定めた内容の補講レポートを提出し合格することでC（可）評価となります。また、学年ごとの年度末に同様の補講期間を設けています。

#### ■GPA 制度について

成績評価と GP の対象は下記表のとおりとなります。

判定	合格				不合格	
評価	S	A	B	C	D	E
GRADE POINT	4	3	2	1	0	0

## ■GPA を算出する際の計算式

$$(4 \times S \text{ の習得単位数}) + (3 \times A \text{ の習得単位数}) + (2 \times B \text{ の習得単位数}) + (1 \times C \text{ の習得単位数})$$

---

$$\text{履修科目全ての単位数合計}(S+A+B+C+D+E)$$

・学則に定める「授業時数の単位数への換算」により、年間の習得単位数は講義科目=4 単位、実習科目=2 単位、演習科目=4 単位となります。

## ■GPA 制度の実施時期

・GPA 数値の算出は年度末補講期間終了後、全ての授業科目の成績評価が確定する時期とします。

## ■GPA の活用

- ・就職活動の際に企業から GPA を求められた場合、成績証明書へ記載することができます。
- ・海外留学の際に大学等から GPA を求められた場合、成績証明書へ記載することができます。
- ・学生に対する個別の学修指導に活用し、学生本人が成績の参考値、目標値として設定することができます。
- ・学内選考が必要となる事象に推薦基準として活用する場合があります。

以 上